

第72回全国植樹祭 開催候補地選定にかかる市町等ヒアリング調査結果(中間報告)

資料2-1

市町等名	甲賀市		長浜市	湖南市	東近江市	多賀町			滋賀県			
	所在地:甲賀市	所在地:野洲市	所在地:竜王町						所在地:甲賀市	所在地:野洲市	所在地:竜王町	
番号	項目	鹿深夢の森	水ロスポートの森	余呉町菅並地区	野洲川親水公園	ひばり公園	B&G海洋センター	富之尾地区	高取山ふれあい公園	陶芸の森	希望が丘文化公園(芝生ランド)	希望が丘文化公園(多目的広場)
I 会場の面積要件等(必須条件)												
1	式典会場【1.0ha以上】	1.8ha	1.9ha	1.0ha	3.3ha	1.0ha	1.5ha	1.0ha	1.5ha	1.0ha	5.7ha	3.3ha
2	おもてなし広場【0.5ha以上】	1.0ha	0.7ha	0.5ha	2.8ha	0.7ha	0.5ha	0.5ha	2.0ha	0.5ha	1.0ha	1.0ha
3	駐車場【施設外含む】 【大型バス200台以上】	200台以上 施設内:50台 施設外:150台以上	200台以上 施設内:50台 施設外:150台以上	200台以上 施設外:200台以上	200台以上 施設外:200台以上	200台以上 施設内:50台 施設外:150台以上	200台以上 施設外:200台以上	200台以上 施設外:200台以上	200台以上 施設外:200台以上	200台以上 施設内:50台 施設外:150台以上	200台以上 施設内:200台以上	200台以上 施設内:140台 施設外:60台以上
4	植樹会場(特別招待者用) 【施設内または隣接地】 【1.0ha以上】	1.0ha 施設内:1.0ha	1.4ha 施設内:1.4ha	1.0ha 隣接地:1.0ha (徒歩5分)	1.1ha 施設内:1.1ha	1.2ha 施設内:0.2ha 隣接地:1.0ha (車10分)	3.0ha 隣接地:3.0ha (徒歩1分)	2.0ha 隣接地:2.0ha (徒歩1分)	2.0ha 隣接地:2.0ha (徒歩1分)	35.0ha 施設内:35.0ha	8.6ha 施設内:8.6ha (子ども広場)	1.1ha 施設内:1.1ha (桜の森)
II 植樹祭の会場としての適性(使いやすさ等)												
1	土地利用に関する制約	・管理者:市(市有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要 ・法令等:都市公園法	・管理者:市(県,市有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整 ◆一般利用者多い(スポーツ大会等) ・法令等:都市公園法	・管理者:独立行政法人水資源機構(同機構所有地) ※開催後の植栽木等管理は市、地元自治会を想定 ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要	・管理者:市(市有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整 ◆一般利用者多い(スポーツ大会等) ・法令等:河川法 ◆河川区域内であり、浸水の恐れあり	・管理者:市(市有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整(利用不可期間あり) ◆ワールドマスターズゲームズ(当年5月15日~21日)に開催:当施設を利用) ・法令等:都市公園法	・管理者:町(町有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要	・管理者:大滝山林組合(同組合所有地) ※開催後の管理については今後検討 ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要 ・法令等:森林法 ◆保安林解除が必要	・管理者:大滝山林組合、多賀町(同組合所有地、町有地) ※開催後の管理については今後検討 ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要 ・法令等:森林法 ◆保安林解除が必要	・管理者:県(県有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整(利用不可期間あり) ◆信楽作家市(毎年5月上旬)に開催:当施設を利用)	・管理者:県(県有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整 ◆一般利用者が多い(スポーツ大会等)	・管理者:県(県有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整 ◆一般利用者が多い(青年の城宿泊者等)
2	会場整備に要する経費	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	経費:26,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	経費:29,000千円 ・土工(整地):1ha 3,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	経費:27,000千円 ・仮設道設置:100m 1,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	経費:26,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	経費:30,000千円 ・土工(整地):1ha 3,000千円 ・仮設道設置:100m 1,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	経費:47,000千円 ・樹木伐採:1ha 3,000千円 ・土工(切土整地):1ha 11,000千円 ・法面工:1ha 6,000千円 ・仮設道設置:100m 1,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円
3	会場としての形状	・円形すり鉢状 【夢の庭】 (150m×220m)	・長方形 【多目的グラウンド】 (125m×165m)	・長方形 【新規造成地】 (57m×200m:幅狭い) ・入口幅狭い(9m程度)	・長方形 【自由広場等】 (120m×280m)	・長方形 【ひばりグラウンド】 (70m×130m)	・長方形 【グラウンド】 (120m×130m)	・長方形 【新規造成地】 (100m×100m)	・長方形 【新規造成地】 (100m×150m)	・半円形 【太陽の広場】 (70m×130m)	・長方形 【芝生ランド】 (100m×700m)	・円形すり鉢状 【多目的広場】 (100m×200m)
4	アクセス状況① 主要ICからの距離 【30分以内】	・甲南IC (8km、13分)	・信楽IC (11km、14分)	・木之本IC (12km、16分)	・栗東湖南IC (9km、14分) ・竜王IC (10km、18分)	・八日市IC (6km、9分)	・彦根IC (6km、10分)	・彦根IC (8km、13分)	・湖東三山IC (10km、19分)	・信楽IC (5km、8分)	・栗東IC (8km、18分) ・竜王IC (9km、16分)	・竜王IC (2km、3分)
5	アクセス状況② 主要駅からの距離 (60分以内)	・大津駅 (43km、44分)	・大津駅 (39km、39分)	・長浜駅 (33km、38分)	・大津駅 (29km、33分)	・米原駅 (26km、32分)	・米原駅 (13km、22分)	・米原駅 (15km、26分)	・米原駅 (19km、34分)	・大津駅 (33km、32分)	・野洲駅 (7km、14分)	・野洲駅 (31km、22分)
6	アクセス状況③ アクセス道路の状況	・市道、広域農道(2車線)	・市道(1車線:離合可)	・県道(2車線)	・市道(1車線:離合不可、当日は一方通行で対応)	・県道(2車線)	・国道(2車線)	・国道(2車線) ・会場進入路急傾斜	・町道(1車線:離合不可、通行やや難) ・橋梁(大型車不可)	・国道(2車線)	・県道(2車線)	・県道(2車線)
7	バス乗降場所【施設内】 【500m2以上】	・施設駐車場 (約2,000m2)	・施設駐車場 (約2,400m2)	・併設道路で対応 (約2,000m2)	・併設道路で対応 (約2,000m2)	・施設駐車場 (約2,500m2)	・併設道路で対応 (約2,000m2)	・併設道路で対応 (約2,000m2)	・施設駐車場 (約2,000m2)	・施設駐車場 (約2,000m2)	・施設駐車場 (28,567m2)	・施設駐車場 (10,430m2)
8	荒天会場 【500人以上】 ※現段階で想定される施設を参考として記載	・あいこうか市民 ホール等 1,282人	・あいこうか市民 ホール等 1,282人	・(仮称)北部地域 総合体育館 2,000人(2020.4オープン)	・湖南市総合体育館 2,000人	・布引運動公園 体育館 2,000人	・彦根市文化プラザ 1,480人	・彦根市文化プラザ 1,480人	・彦根市文化プラザ 1,480人	・あいこうか市民 ホール等 1,282人	・野洲市野洲文化 ホール 1,000人	・竜王町ドラゴンハット 5,000人

番号	市町等名	甲賀市			長浜市	湖南市	東近江市	多賀町			滋賀県		
		項目	鹿深夢の森	水ロススポーツの森	余呉町菅並地区	野洲川親水公園	ひばり公園	B&G海洋センター	富之尾地区	高取山ふれあい公園	(所在地:甲賀市)	(所在地:野洲市)	(所在地:竜王町)
1	開催候補地の回答区分	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	県回答	県回答	県回答
2	森林・林業との関わりや会場の景観等	<p>・当市は、野洲川上流に位置する琵琶湖の水源地である。</p> <p>・「甲賀ヒノキ」として知られる良質ヒノキの生産地である。</p> <p>・市民も森林保全や緑化意識が高く、間伐面積および「緑の募金」はともに県内一位の実績がある。</p> <p>・地元での市民活動団体の協力を得ながら琵琶湖の水源地として下流府民との上下流連携による森林づくりに取り組むとともに、甲賀木の駅プロジェクトや県内初のCLT建築物等、地域産木材の循環利用にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>・会場は、静かな山村地域にあり、緑に囲まれた自然豊かな場所である。</p>	<p>・会場は、利便性の高い都市部にあるが、野洲川と緑にも囲まれた自然豊かな場所である。</p>	<p>・当市は、琵琶湖の最北端に位置する琵琶湖の水源地である。</p> <p>・自伐型林業の推進や、ながはま森林マッチングセンターによる山村資源の活用など新たな森林ビジネスの創出に取り組んでいる。</p> <p>・候補地の対岸の菅並集落には、湖北の代表的な余呉型民家で構成される全国的にも貴重な山村集落景観が広がっている。</p> <p>・候補地の周辺森林は半世紀わたり手つかずの多様な広葉樹が広がり、新たな森林再生の可能性を秘めた森林である。</p> <p>・会場は、静かな山村地域にあり、琵琶湖の源流となる高時川と緑に囲まれた自然豊かな場所である。</p>	<p>・都市近郊林としての生活環境の保全や教育的観点から整備育成を図るための施策を展開している</p> <p>・市の南側にある阿星山系には、国の天然記念物であるうつくし松自生地がある。</p> <p>・会場は、当市の中央を横断し琵琶湖まで流れている野洲川河川敷にあり、南側の阿星山系、北側の岩根山系に挟まれた自然豊かで緑に囲まれた場所である。</p>	<p>・当市は、鈴鹿の山々から琵琶湖までを抱え、鈴鹿10座を中心とした登山やエコツーリズム、河辺いきものの森を拠点とした里山保全活動等により、「森」「里」「湖」のつながりを体感できる地域である。</p> <p>・愛知川上流域の永源寺地域は、「永源寺スギ」の生産地であり、古くから「木地師」の里として木工品の生産が盛んな林業地である。</p> <p>・会場は、昔ながらの田園風景が広がる湖東平野の中心に位置し、鈴鹿の山々も眺望できる緑に囲まれた場所である。</p>	<p>・当町は、犬上川上流に位置する琵琶湖の水源地である。</p> <p>・町内の林業関係者や行政等との連携により、多賀町産木材の循環利用として公共施設の整備や民間活用に取り組んでいる。</p> <p>・会場は、町役場の近隣地であり利便性が高い場所であるとともに、緑に囲まれた自然豊かな場所である。</p>	<p>・会場は、静かな山村地域にあり、緑に囲まれた自然豊かな場所である。</p>	<p>・会場は、静かな山村地域にあり、緑に囲まれた自然豊かな場所である。</p>	<p>・当施設のある甲賀市は、野洲川上流に位置する琵琶湖の水源地である。</p> <p>・会場は、緑に囲まれた自然豊かな場所である。</p>	<p>・当施設のある野洲市は、琵琶湖に注ぐ野洲川の中流に位置する。</p> <p>・当施設は、スポーツ施設や宿泊研修施設を有する公園であり、広大な面積を誇る多様な森林は、都市近郊林としてレクリエーションや自然観察等の環境学習等の場として多くの方に利用されている。</p> <p>・会場は、緑に囲まれた自然豊かな場所である。</p>	<p>・当施設のある竜王町は、琵琶湖に注ぐ日野川の中流に位置する。</p>	
3	開催候補地としての意向	甲賀市での開催を要望(市:第1希望)	甲賀市での開催を要望(市:第2希望)	長浜市での開催を要望	湖南市での開催を要望	東近江市での開催を要望	多賀町での開催を要望(町:第1希望)	多賀町での開催を要望(町:第3希望)	多賀町での開催を要望(町:第2希望)	<参考>甲賀市意見 甲賀市での開催を要望 市の回答施設を優先してほしい	<参考>野洲市意見 当施設での開催を要望	<参考>竜王町意見 決定した場合は協力について検討	
4	他の全国規模の行事状況	<p>・2024国民体育大会(他施設を利用)</p>	<p>・2024国民体育大会(軟式野球:当施設を利用)</p>	<p>・2018全国「みどりの愛護」のつどい(4月または5月に開催:他施設を利用)【皇太子同妃両殿下参加】</p> <p>・2021「ワールドマスターズゲームズ」(他施設を利用)</p> <p>・2024国民体育大会(他施設を利用)</p>	<p>・シアソフボール大会(毎年8月に開催:当施設を利用)</p> <p>・2024国民体育大会(他施設を利用)</p>	<p>・2021「ワールドマスターズゲームズ」(軟式野球(5/15~21):当会場を利用)</p> <p>・2024国民体育大会(他施設を利用)</p>	特になし	特になし	特になし	<p>・信楽作家市(毎年5月上旬に開催:当施設を利用)</p>	<p>・全国中学校駅伝大会(毎年12月中旬に開催:芝生ランドを利用)</p> <p>・びわ湖カップ少年サッカー大会(毎年8月中旬に開催:芝生ランドを利用)</p> <p>・びわ湖カップなでしこサッカー大会(毎年2月中旬に開催:芝生ランドを利用)</p>		
5	その他 市町等ヒアリングによる ・市町での主な取組 ・会場のアピールポイント ・開催後の会場利活用 ・地元との関わり等	<p>・会場内の施設を式典会場控室等として利用可能である。</p> <p>・会場内の施設を式典会場控室等として利用可能である。</p> <p>・隣接する「みなくち子どもの森」は、森林環境学習「やまのこ」の受入施設であり、植樹会場のほか、関連イベント等にも利用可能である。</p> <p>・これからの先進的な取組を通じて、琵琶湖の水を育む森林の役割と重要性の再認識するとともに、森林整備の促進、地域経済の活性化のモデルとして全国に発信していきたい。</p> <p>・開催後は、設置した構造物等を活用しながら、永久的に市民の記憶にとどまり、水源地の重要性が認識される施設としていきたい。</p>	<p>・会場内の施設を式典会場控室等として利用可能である。</p> <p>・会場内の施設を式典会場控室等として利用可能である。</p> <p>・隣接する「みなくち子どもの森」は、森林環境学習「やまのこ」の受入施設であり、植樹会場のほか、関連イベント等にも利用可能である。</p> <p>・これからの先進的な取組を通じて、琵琶湖の水を育む森林の役割と重要性の再認識するとともに、森林整備の促進、地域経済の活性化のモデルとして全国に発信していきたい。</p> <p>・開催後は、設置した構造物等を活用しながら、永久的に市民の記憶にとどまり、水源地の重要性が認識される施設としていきたい。</p>	<p>・淀川流域の安全で豊かな生活に資する丹生ダムの建設予定地であったこの地域は、重要な水源地であり、多様な主体による資源循環型の山村振興と森林再生のシンボルとして全国植樹祭に取り組むのに相応しい地域である。</p> <p>・当地域での開催は、地元からも強い要望があることから、地元への大いなる励みと活性化への推進力になるとともに、森林・山村の再生を進める上で強いメッセージとなる。</p> <p>・開催後は、緑地公園として既存の妙理の里や古刹の洞寿院、集落景観とともに、下流の人々が安らぎや楽しさを体感できる空間として利活用を予定している。</p>	<p>・野洲川の流れと南北に位置する山々の緑あふれる豊かな自然に囲まれた広大な敷地であり、阿星山系側にある国の天然記念物であるうつくし松自生地を広くアピールできるよう、魅力ある候補地とした。</p> <p>・うつくし松に関するプロジェクト会議を開催しており、将来、より多くのうつくし松を残していくために地域住民と手を取りながら共存していく。</p>	<p>・八日市ICから車で10分というロケーションで非常に交通の便が良いことに加え、近隣駐車場も十分な広さがあり、招待者が参加しやすい立地条件を有している。</p> <p>・会場内の施設を式典会場控室等として利用可能である。</p> <p>・100年先を見通した東近江市の新たな森林・林業ビジョンの策定に向けて、今年度から議論・検討に着手。2021年に開催される全国植樹祭を本ビジョンに基づく施策や取組を推進する上での機運を高める絶好の機会と捉えている。</p>	<p>・町内の林業・木材産業等関係者や行政等との連携により、2012年に林業ワーキンググループを立ち上げ、多賀町産木材の循環利用として公共施設の整備や民間活用に取り組んでおり、2019年3月には多賀町産木材を活用した多賀町中央公民館が完成する。</p> <p>・全国植樹祭が開催される2021年は、ちょうどこの取組を始めて10年目という節目の年であることから、当町の地域材循環利用の取組の集大成として、全国に発信していきたい。</p> <p>・国道に近く交通アクセスが良好である。</p> <p>・会場内の施設を式典会場控室等として利用可能である。</p>	<p>・会場は、森林環境学習「やまのこ」の受入施設であり、植樹会場のほか、関連イベント等にも利用可能である。</p>	<p>・日本六古窯のひとつに数えられる信楽焼の産地であり、当施設では1991年に世界陶芸祭も開催されている。</p> <p>・会場内の施設を式典会場控室等として利用可能である。</p>	<p>・「希望が丘文化公園将来ビジョン(平成27年12月策定)」に基づき、平成30~34年度を計画期間とする「希望が丘文化公園基本計画」を今年度策定する予定。</p> <p>・会場となる芝生ランドは、広大な芝生広場であり、家族での行楽や大会の開催など、柔軟に利用されている。</p>	<p>・竜王ICから車で3分のロケーションであり、交通の便が良い。</p>		

開催候補地選定にかかる評価方法について(案) [第4回会議に向けて]

1 事務局による評価資料の作成

- (1) 第3回会議での意見等を踏まえて、各候補地の調査結果(資料2-1、2)を再精査。
- (2) 調査結果を基に第2回会議で決定した各項目の評価基準に基づき「個別評価表」を作成。
※資料2-1の各項目に評価を併記 (I:適、不適 II:◎、○、△)
- (3) 併せて、より見やすく、かつ検討しやすくするため、I、IIの評価結果とIIIの事項をとりまとめた「総合評価表」を作成。【下記参照】

2 準備委員会による開催候補地の検討・決定

- (1) 評価資料を基に、候補地の選定に向けて議論
- (2) 各委員の意見等を踏まえ、最終的に最もふさわしい1箇所を開催候補地として決定。
※先催県の事例を見ても、基本的に多数決や投票で決することはなく、評価結果を基に議論し、委員会の総意により最終決定されている。

<参考>開催候補地選定にかかる総合評価表(イメージ)

市町等名	○○○	○○○	○○○	○○○	○○○
候補地名	A	B	C	D	E
I 会場の面積要件等(必須条件)					
総合評価	◎	◎	◎	◎	◎
・全て【適】の場合 : ◎ ・上記以外 : 無印	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0
II 植樹祭の会場としての適性(使いやすさ等)					
総合評価	◎	◎	○	○	
・全て【◎】の場合 : ◎ ・【◎】と【○】の場合 : ○ ・上記以外 : 無印	◎:8 ○:0 △:0	◎:8 ○:0 △:0	◎:7 ○:1 △:0	◎:7 ○:1 △:0	◎:7 ○:0 △:1
III その他参考となる事項					
森林・林業との関わり	森林・林業との関わりが深い(…)		森林・林業との関わりが深い(…)		森林・林業との関わりが深い(…)
他の全国規模の行事状況		他の全国規模の行事との重複(…)		他の全国規模の行事との重複(…)	
その他アピールポイント等	アピールポイント等(…)	アピールポイント等(…)	アピールポイント等(…)	アピールポイント等(…)	アピールポイント等(…)

※その他参考となる事項については、評価の際にポイントとなる事項等を抜粋して記載する。